



安全データシート

Copyright, 2018, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1)当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2)本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	31-2340-3	版	4.01
発行日	2018/02/01	前発行日	2016/07/13

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M[™] 足付けソフトディスク・シート (粒度400, 600, 800, 1000)

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	1 - 10
硬化レジン	混合物	5 - 10

3M[™] 足付けソフトディスク・シート (粒度400, 600, 800, 1000)

バッキング	混合物	40 - 60
フックイット [™] バッキング	混合物	30 - 40

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

工業用又は専門家用に使用を限定する。密閉された換気不良の場所で使用しないこと。切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。損傷した製品は使用中に砕け散り、顔や眼に重傷をもたらすことがある。使用前に亀裂や欠け跡があるかを確認する。損傷がある場合は取り替える。研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

保管

熱から離して保管する。凍結させないこと。湿気を遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 1mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 0.5mg/m ³ 、 TWA (総ダストとして) (8時間) : 2mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策**設備対策**

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。粉塵を作業エリアから除外するために、粉塵発生源の付近に局所廃棄装置を設置する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価する。保護マスクを選択する場合は、研磨される材料を考慮する。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な呼吸保護具を選択して使用する。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

微粒子に適している半面形あるいは全面ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
形状、色、臭い	固体研磨材
臭いの閾値	適用しない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	適用しない。
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度	適用しない。
比重	適用しない。
溶解度	適用しない。
溶解度 (水以外)	適用しない。
n-オクタノール/水分配係数	適用しない。
発火点	適用しない。
分解温度	適用しない。
粘度	適用しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質
知見はない。

条件

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

機械的な眼刺激： 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。 研磨粒子による粉塵は眼を刺激する。症状は充血、腫れ、痛み、涙、かすみ目など。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

吸入した場合

研磨粒子による粉じんは呼吸器を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、かすれ声、鼻・喉の痛みなど。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

追加情報

このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。

3M™ 足付けソフトディスク・シート (粒度400, 600, 800, 1000)**毒性データ**

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	吸入-粉塵/ ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	ウサギ	刺激性なし

皮膚感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物（非繊維状）	吸入した 場合	ラット	発がん性なし

生殖毒性**生殖発生影響**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

標的臓器

3M[®] 足付けソフトディスク・シート (粒度400, 600, 800, 1000)

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性 (急性)

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性 (慢性)

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1		実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観察されない。	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あ	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

3M[®] 足付けソフトディスク・シート (粒度400, 600, 800, 1000)

		るいは不足している。				
--	--	------------	--	--	--	--

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2017年3月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

成分	法規名	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)		189 (酸化アルミニウム)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1：所在地 情報修正.

セクション 1：担当部門名 情報修正.

セクション1 : ストック番号情報 情報の削除.
セクション1 : 製品名 情報修正.
セクション2 : GHS分類 情報修正.
セクション2 : 絵表示 情報修正.
セクション2 : 注意喚起語 情報修正.
セクション2 : シンボル 情報修正.
セクション3 : 成分表 情報修正.
セクション3 : 「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の削除.
セクション4 : 応急措置 (急性・遅発性症状) 情報修正.
セクション4 : 応急措置 - 医療機関への報告 (REACH/GHS) 情報修正.
セクション4 : 応急措置 (眼に入った場合) の情報 情報修正.
セクション4 : 応急措置 (飲み込んだ場合) の情報 情報修正.
セクション4 : 応急措置 (吸入した場合) の情報 情報修正.
セクション4 : 応急措置 (皮膚の接触した場合) の情報 情報修正.
セクション4 : 毒性学的影響のテキスト 情報修正.
セクション5 : 火災時情報 (消火法) 情報修正.
セクション5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
セクション5 : 火災時情報 (特殊有害性) 情報修正.
セクション5 : 燃焼時有害性の表 情報修正.
セクション6 : 封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正.
セクション6 : 事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション6 : 事故漏出時の措置 情報修正.
セクション6 : 事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション7 : 貯蔵情報 情報修正.
セクション7 : 取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション8 : 職業暴露情報 情報修正.
セクション8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション8 : 保護具 - 眼 情報修正.
セクション8 : 保護具 - 吸入 情報修正.
セクション8 : 保護具 - 皮膚/手 情報修正.
セクション8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正.
セクション8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション8 : STL記号 情報修正.
セクション8 : TWA記号 情報修正.
セクション9 : 沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション9 : 分解温度 情報修正.
セクション9 : 融点/凝固点 情報修正.
セクション9 : 発火点情報 情報修正.
セクション9 : 蒸発速度情報 情報修正.
セクション9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
セクション9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
セクション9 : 引火点情報 情報修正.
セクション9 : n-オクタノール/水分分配係数の情報 情報修正.
セクション9 : 臭気限界 情報修正.
セクション9 : pH情報 情報修正.
セクション9 : 比重情報 情報修正.
セクション9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
セクション9 : 水溶解性値 情報修正.

セクション9：蒸気密度の値 情報修正。
セクション9：蒸気圧 情報修正。
セクション9：粘度 情報修正。
セクション10：反応性情報 情報修正。
セクション10：有害分解物 情報修正。
セクション10：避けるべき条件 情報修正。
セクション10：有害な分解物の表 情報修正。
セクション10：有害な重合反応の性状 情報修正。
セクション10：避けるべき物質 情報修正。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：追加毒性情報のステートメント 情報修正。
セクション11：吸引ハザード 情報修正。
セクション11：発がん性の表 情報修正。
セクション11：分類放棄声明 情報修正。
セクション11：表テキストに非開示の成分 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：健康影響情報（追加情報） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（眼） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正。
セクション11：健康影響情報（皮膚） 情報修正。
セクション11：呼吸感作性のテキスト 情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性のテキスト 情報修正。
セクション11：特定標的臓器毒性 - 単回ばく露のテキスト 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション12：水生生物への急性毒性情報 情報修正。
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。
セクション12：危険性の分類 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション13：廃棄物の処理ノート 情報修正。
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション15：法規名 - 表 情報修正。
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。
セクション16：UK放棄声明 情報修正。
セクション16：Webアドレス 情報修正。

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートへの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。